



7 今年の調査結果をまとめました



吉野川の水質は、下流の方が上流に比べて、すこし汚れている傾向にありました

今年のみなさんの結果をみると、池田ダムより上流のCODは約2.9mg/l、河口付近では約4.1mg/lとなりました。水質は、気候によっても変化するので、今後も継続的に調査を実施していきます。



下流域の支川で汚れている状況がみられました

多くの方が住む下流の支川ほど、CODが8mg/l以上の地点が多くみられました。このような川では、次のような報告がみられました。

- ほとんど流れがない
- 生活排水が流入している
- ゴミが浮いている



みなさんと呼びかけ機関の調査結果は、よく似た傾向を示しました

どちらの結果も、上流に比べ、下流でCODが高くなる傾向がみられました。

このことから、バックテストを用いることによって、おおよその水質を把握することができます。



多くのゴミが確認されました

今回の調査でも川の中や河川敷で、多くのゴミが確認されました。

ゴミは、ペットボトル・ビニール袋・空き缶など、生活から出るものが大半でした。



平成16年 吉野川流域一斉水質調査 水質マップ [呼びかけ機関調査版]

呼びかけ機関の調査結果を用いて、主な川の水質を整理した水質マップをつくりました。



川ごとの調査結果(COD)の平均値をとり、その値によって色を塗り分けています。

ここでは、呼びかけ機関が調査した川の結果をのせています。

なお、吉野川と旧吉野川では、次の区間に分けて整理しました。

吉野川:河口、下流、中流、上流の4つに分けました。

旧吉野川:今切川と分かれる地点を境に、上流側と下流側の2つの区間に分けました。

この結果についての注意点

1) 川全体が同じ色になっていますが、実際には、上流と下流で水質が異なる場合があります。

平成16年 吉野川流域一斉水質調査 水質マップ【一般参加者調査版】

みなさんの結果を用いて、主な川の水質を整理した水質マップをつくりました。



川ごとの調査結果(COD)の平均値をとり、その値によって色を塗り分けています。

ここでは、吉野川、旧吉野川、今切川のほかに、みなさんの調査結果の多かった川の結果をのせています(1つの川につき、10地点以上で調査がおこなわれた川)。

なお、吉野川と旧吉野川では、次の区間に分けて整理しました。

吉野川:河口、下流、中流、上流の4つに分けました。

旧吉野川:今切川と分かれる地点を境に、上流側と下流側の2つの区間に分けました。

この結果についての注意点

1) 川全体が同じ色になっていますが、実際には、上流と下流で水質が異なる場合があります。

2) バックテストは、水温や検査時間、チューブに吸い込ませる水の量によって結果にばらつきがでたり、人によって色の判断基準が異なる場合もあります。